



MapInfo Pro v2019

データライフサイクル全体での発見、強化、最適化



位置情報は意思決定において非常に重要ですが、分析をより複雑なものにします。「試行錯誤」を重ねるアプローチでは、万一失敗した際の損失は非常に高いものになります。

そのため、ウェブマッピングアプリケーションにデータを展開して使用できるレベルのマップを作製するには、フル機能のデスクトップマッピングソリューションを利用することが不可欠です。MapInfo Pro v2019は、より新しくパワフルに進化したクエリ機能や、ポイント情報の分散傾向を的確に表現するヒートマップに加え、MapInfo Marketplaceにより様々な拡張機能アプリを追加する事ができる、位置情報分析の「オールインワン」ソリューションです。

MapInfo Proは、「現実世界」の地図モデル作成を支援し、様々な企業活動の効果測定シミュレーションを可能にします。無料のMapInfo ProViewerは、地図についてあまり詳しくないユーザーにも分析結果の利用の幅を広げ、マップの公開用テンプレートによりまるで専門家が作成したようなデザインと作業効率を提供します。

「MapInfo Pro v2019は、慣れ親しんだ過去から刺激的な未来へ、地理分析をつなぐ架け橋です。経験豊富なユーザーが利用する機能、そして新規ユーザーとエキスパートユーザーの両方を支援する新しい機能性を提供します。」

— Ross Owens
Location Intelligence Specialist, Spatial Insights

情報探索

分析は、ビジネスに重要な要素やそれらがどのように相互作用しているに加え、成功と失敗の指標となる情報を収集して正しい判断を行う必要があります。

ユーザーはインタラクティブなツールであるMapInfo Proを利用して、データをマップ上にシンボルや主題図、ラベルを用いて可視化できます。複数のデータセットを重ね合わせることで、他の手法では得ることができなかった空間的な関連性の可視化が可能になります。

例えば、ワイヤレスネットワークビジネスの成功は、基地局などの通信設備の最適な配置と、サービス技術者の適切な運用に依存しています。

モデル化

モデルとは、位置情報に基づく意思決定を行う、現実世界の特定の環境または状態を表したものです。モデルの構築や維持にはコストがかかりますが、MapInfo Proは、データの一元管理と可視化を支援します。

MapInfo Proソリューションにより、顧客データをマップや統計情報と統合し、パワフルなクエリ検索やモデリングツールを駆使して、現実世界における意思決定よりはるかに迅速、低コストにモデルを構築、テストすることが可能です。位置情報の活用により、意思決定の費用対効果が、時間とともに大きく改善されることに繋がります。

行動支援

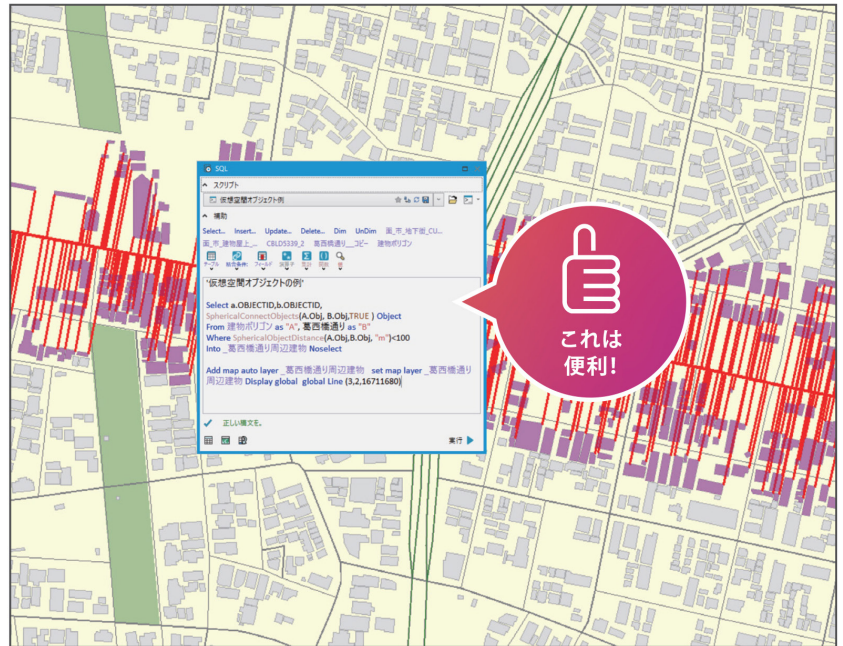
分析結果を元に行動し最大の価値を生み出すには、モデルを意思決定者に正しく伝えられなければいけません。アナリストのインサイトを、効果的で実現性のある適切なモデリングとして地図上に可視化し、意思決定者に提供します。

MapInfo Proは最適な意思決定と行動を支援するための地図レポートとその配布を可能とします。1つの地図は、長々とした説明文よりもはるかに分かりやすい場合があります。ただし、どのような地図と説明を意思決定者に提供するのが非常に重要です。

パワフルな新しいツールで 機能がさらに向上

新しいSQLウィンドウにより、
企業内のデータをより速く、
よりシンプルに発見、
セグメント化し、目的の情報を得る：

ユーザーはスクリプト編集支援ツールにより、
複数のSQLステートメントやMapBasic文を含
む、クエリスクリプトを独自に構築し保存する
ことができます。保存したスクリプトを再利用
する事で、クエリの構築、実行、再使用を素早
く容易に行うことが可能です。
SQL検索や各種のテーブル処理を頻繁に行うユ
ーザーの生産性改善に大きな効果を発揮しま
す。

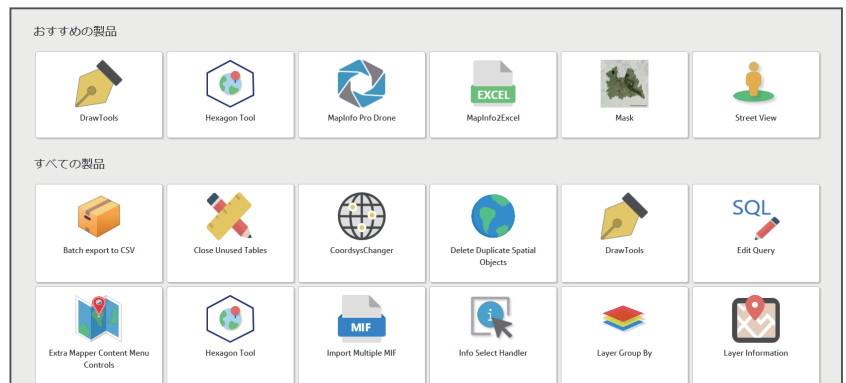


Marketplaceのアドオンアプリで

位置情報の分析力を強化：

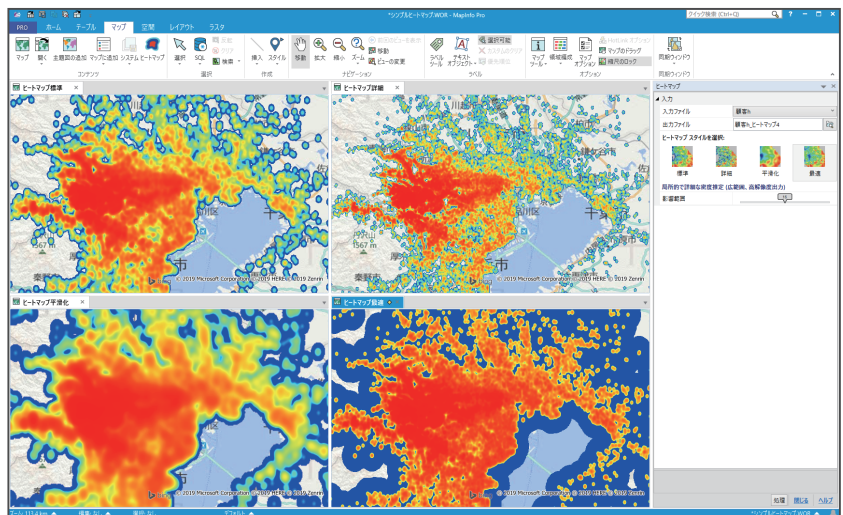
多くのアドオンアプリが継続的にリリース、ア
ップデートされており、個別のビジネスニーズ
の課題解決を支援します。

例えば、ある地域のドローン空撮写真画像が
必要であれば、MapInfo Pro Droneアプリ
で場所を指定し、発注することが可能です。
さらに、特別な目的のツールをが必要であれ
ば、Marketplaceには様々な目的に対する有
償/無償のアドオンアプリが数多く提供され
ています。



新しいヒートマップにより、
データの空間的な広がりを
わかりやすく可視化：

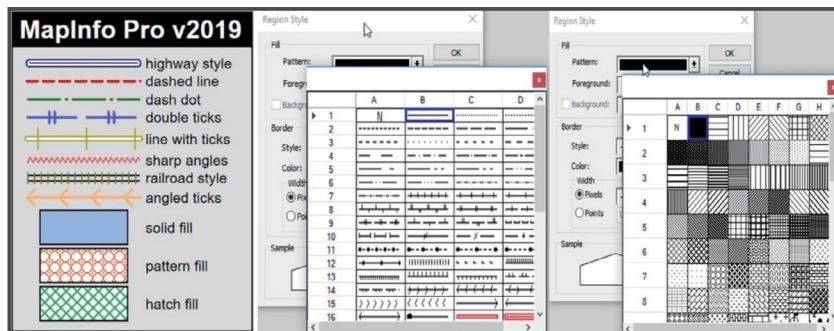
人や施設あるいは物に関するデータから、その
位置の密度を「ホットスポット」として可視化
することでより適切な意思決定を支援します。
より高度な分析レベルが必要であれば、MapInfo Pro Advancedにアップグレードすることで、高圧縮で高パフォーマンスなMRRフォーマットを使って、あらゆる種類のラスタ分析を扱うことが可能になります。



レイアウトを改善して

美しいマップを作る：

レポート印刷時の、ラインや塗りつぶし、ベクトル化記号などのスタイル表現の品質が改善されました。レイアウトにおける再描画速度の向上、スナップおよびアラインメント、テンプレートギャラリー、複数ページのレイアウトなど、質の高いアウトプットを実現する多くの改善が含まれます。



新しいプログラミング言語の

サポートによる、ビジネスプロセスの

「自動化・カスタマイズ」能力の拡充：

.NETに加え、新たにPython言語をサポート。MapInfo Proに、よりパワフルな機能拡張能力が追加されました。MapBasicも多くの新しいコマンドで強化されています。

MapInfo Proの

64-bitバージョンへの移行：

v15.0など、32-bitバージョンをお使いの方は、より早く、より使いやすく改良された64-bitバージョンへの移行を是非ご検討ください。

「公共の治安を扱うには、信頼性と正確性が何より重要です。ここ20年の間、当社ではMapInfo Proを使って住所管理システムの構築と維持を行ってきました。2016年に64-bit環境に移行した際には、わずか3週間で生産性を完全に復活させることができました。すべての新機能が、移行するに相応しい、価値のあるものでした」

— Alfonso Garrido

テキサス州、カメロン郡、地域の緊急通報機関911、GISコーディネーター

位置情報に基づく意思決定： 情報探索、 モデル化および行動支援

MapInfo Pro v2019へ移行してMapInfoコミュニティにご参加ください。マッピング分析の将来をより良いものにするために世界のユーザーと活動を共にし、新しい刺激的な未来へ続く道を共に歩んでいきましょう。

動作環境

MapInfo Pro v2019

OS：

- Windows® 10 (64-bit)
- Windows® 8.1 (64-bit)
- Windows® 7 (64-bit SP1)
- Windows Server® 2019 (64-bit)
- Windows Server® 2019 (64-bit with XenApp 7.15)
- Windows Server® 2016 (64-bit)
- Windows Server® 2012 R2 (64-bit)
- Windows Server® 2012 R2 (64-bit with XenApp 7.5)

データ互換性

一般PCファイル：

- Microsoft® Excel
- Microsoft® Access
- dBase DBF
- CSV、区切り付ASCII textファイル

空間データベース：

- Oracle®
- Microsoft® SQL Server
- PostGIS
- SQLite
- OGC GeoPackage

空間データ：

データベース：

- ODBC互換データベース
- Microsoft® Access 2010, 2013, 2016
- AutoCAD® DXF/DWG
- SHP
- DGN
- GML
- KML
- その他

画像・イメージ地図：

- WMTS
- WMS
- WFS
- CSW
- 航空写真画像
- 衛星写真画像
- スキャンした紙の地図
- Microsoft® Bing maps